

広報 やまこし

1977
4/1
第106号

発行 新潟県古志郡山古志村役場 電話 竹沢局 (025859) 2331 (代表) 印刷 大川印刷株式会社



世帯数	963	人口	3,992人
		(男)	2,005人
		(女)	1,987人
出生	4人	死亡	1人
(男)	3人	(男)	1人
(女)	1人	(女)	0人
2月中の住民移動		転入	4人
		(男)	4人
		(女)	0人
		転出	3人
		(男)	2人
		(女)	1人

- 主な記事
- 三月定例村議会
 - 村議会議員選挙
 - 芹坪小・梶木小閉校式
 - 山古志村にも機械田植
 - 民芸品展示会
 - 第一公民俗芸能発表会



民芸品展示会開催

左記により、民芸品展示会が行われます。今まで有志等により、アイデア募集をかねて行われていましたが、ことは観光協会の主催(後援、観光開発公社、教育委員会)で行われるものです。皆さんの出品を望んでいます。なお、観賞にもお出かけ下さい。なお、四月十六日(午前十時)～(午後二時) 種学原農林特産センター 出品受付(午前八時～九時) 出品者には、参加賞を用意しています。

老人居室整備資金 貸付の受付中

昭和五十二年老人居室整備資金貸付の受付を、左記のとおり行いますので、ご希望の方は期日までに申し込みください。(期日後は受付できません。)

なお、申し込み多数の場合は、ご希望に添えかねることもありまますので、予めご了承願います。

○受付期間 昭和五十二年四月末日日まで

○受付窓口 役場住民課

停電のお知らせ

○期日 4月14日

○区域 虫 亀

○時間 9時30分から 13時30分まで

第二回 民俗芸能発表会

第二回民俗芸能発表会が左記により行われます。さそいあわせてお出かけ下さい。

期日 四月二十四日(日)

午後一時～四時

会場 虫亀小学校体育館



犬の登録および狂犬病 予防注射の日程について

昭和五十二年度犬の登録及び第一回狂犬病予防注射を次のとおり実施しますので、犬を飼っておられる方は、もれなく最寄の会場で受けてください。

◇登録及び注射を受ける方は、印鑑と通知書を持参してください

◇料金

登録 三〇〇円

注射 六四〇円

済票 一五〇円

計 一、〇九〇円

お知らせ

狂犬病予防注射日程表

月 日	地区名	場 所	時 間
4月21日	虫 亀	診療所	11:30~12:00
	竹 沢	役 場	13:00~13:30
	東竹沢	診療所	14:00~14:30
4月22日	南 平	民族資料館	11:00~11:30
	種 芋原	公民館	13:00~14:00

雪国に生れ、雪とともに育ち雪に慣れていく私たちですが、今冬は年末年始から止むことを知らず降り続く大雪になやまされ、終始雪との闘いでした。交通確保のため、日夜除雪に努力された除雪隊の姿が思い出されます。

全機動力を駆使しての除雪も、通勤、通学道路はかぎられた時間までに確保しなければならず、まだ夜も明けぬ早朝より機械をフル運転、厳寒は云うまでもなく、吹雪の中の除雪圧雪は文字どおり、手さぐり状態の作業でした。この間、機械の故障、修理はほとんど現場が主、降る雪は一時も容赦なく降り続き、なだれの危険にさら

降雪日数 71日 (11月28日~3月15日)

最大積雪量 3.88cm (種芋原 4.90cm)

除雪(圧雪)機械 818台 出動延台数 (2月28日現在)

累計降雪量 23.01cm

最低気温 -9°C(1月13日)

除雪ご苦労さまでした

されながらの作業はきびしさそのものであります。

異常寒波と豪雪のうちに明け暮れた山古志もようやく春を迎えようとしているいま、あらためて除雪のみなさんに感謝いたします。

昭和五十二年変算可決

総額八億六、二七〇万円

三月八日から十八日まで、十一日間を会期に開かれた村議会で、村長は次のように昭和五十二年度の所信を述べました。「山古志のこれからの道はけわしい。乏しい財政の中で精いっぱい努力をし、難局をきり開きたい。村民の皆さんも認識と協力をお願いしたい」……このほか、昭和五十二年当初予算など三十八件について審議されそれぞれ原案どおり可決されました。以下その概要についてお知らせします。

施政方針

ことしから、村史の編さんに着手したい。一郡一村は全国で三つしかないもので、非常に意義の深い郡名だから残した、と当時の合併促進委員から聞いている。それならば、なぜ意義深いのか、を知る必要がある。また先人が苦心して歩いてこられた足跡をよく知ることにより、現在ここに住む私共がそれを見習ったり、また反省しながら、村づくり、に精をだすためにも必要だと思ふ。



この村に縁念の深い、新潟大学史学部の佐藤誠朗教授を中心に、皆さんのお力を借りながらやって行きたい。およそ五十七年かゝる予定で、慎重に、一生懸命取りかんでいかなければならない。次に環境の浄化をはかりたい。かねてから皆さんにご心配を煩わしていた、し尿処理問題については、小千谷川口衛生組合のご厚意により受け入れていただける見通しがついた。しかし環境の浄化はゴミ処理一つ考えてみても、村民の皆さんの自覚なくしては解決できないものであるだけに、特に村民のご協力をお願いしたい。

次に教育問題であります。教育もまた環境が非常に大切であり教育の源は環境であろうかと思ひます。盃母三遷の教えもございまして、校舎その他の環境を整えていかなければならない。五十二年事業としては、東竹沢小学校の完成、教員住宅の建設等を予算計上した。なお通学児童の交通安全確保は特に大切であり、真剣に取り組んでまいりたい。その他老朽校舎の補修については、教育委員会を中心に、年次的に計画をたて、きたが、いろんな点から再検討をしなければならぬ時期にたちいたっている。五十二年度は充分再検討をしたい、と念願している。

産業の振興について、農林水産業の政府施策を我々為政者はもちろん、村民の皆さんから積極的に受け入れる心がまえを持っていた。だきたい。これらの事については関係機関、諸団体とよく相談しながら、しっかりと案をたて、なにか形と心を整えていきたい。目下、政府施策の中で、地域農業後継者対策事業、地域農政の総合推進事業を受け入れたく交渉中である。なお、現在行っているものとしては、山間高冷地の稲作安定対策事業、融雪支援対策事業、錦鯉総合センターの建設などがありともに村民の皆さんから受け入れていただく体制をつくらなければならぬ。大きく言えば、日本の農業はまさに反省期に入っており大型団地栽培等は壁にぶつかっている。したがって政府は複合経営を打ち出しており、特に私共は山間地で超零細であつて、しかも自然条件に恵まれない土地での農業生産は、真剣に反省し、み直しをし、しっかりと施策をおろし、推進していかねばならない。

「春眠暁を覚えず」ということばがありますが、春はどうしてこんなに眠いのでしょうか。春は冬よりも夜が短くなるので、それが睡眠不足に不足のというへりくつを立てる人がいます。照明器具の発達で、夜から暗さを追放したため、それが宵つぱりの原因になり、朝、起きにくくしている……と云う説もありです。

季節の話

四月は、卯(う)の花がいにせいに咲くので「卯月」と呼ぶのでしようか。一年を通じて気温上昇の割合がいちばん大きく、裏日本と表日本の気温の差が少なくなつて、全般的に花ぐもりの日が多くなります。空気が乾いて、急に強い南風が吹いたら目を開けられないほどですが、あの豪雪や、身を切るような寒さを通りぬけた今日このごろは、どことなくのんびりとしたムードになります。

季節の話

ねむい・だるい「春眠暁を覚えず」ということばがありますが、春はどうしてこんなに眠いのでしょうか。春は冬よりも夜が短くなるので、それが睡眠不足に不足のというへりくつを立てる人がいます。照明器具の発達で、夜から暗さを追放したため、それが宵つぱりの原因になり、朝、起きにくくしている……と云う説もありです。



努力したい考えである。観光については、これから先、重要な役割をはたすと思われるので引き続き力を入れていきたい。闘牛については全国的な関心が高まっており、具体的には、旧二十村郷を土台とした闘牛の振興をはかっていきたい。これらは関係の皆さんと充分研究協議しながら、スムーズに発展するよう努力しなければと考えている。

なお、専門家の意見では、山古志の観光の欠点は、泊る所のないこと、で泊る場所さえあれば観光客の足をとめることができる、との教えもあり民宿の奨励にも力を入れていきたい。本年は、日本写真連盟の皆さん五百人が泊りがけで、闘牛その他を写しに来村されることも決つており、少しづつではあるが軌道にのつてきているのでも、越後闘牛会の皆さん、公社やその他関係の皆さんが献身的にやってくださるおかげと感謝して

道路通信網の整備、これは私共の村の全ての源でありますので、おこたらず今更以上以上に情熱をそそいでいきたい。その中で特にバス対策については何としても行政の立場で五十二年をめどに、出来る限りの努力です、めていきたい。

普通の人々の目覚めは、朝、気がついてから、完全にさめるまで、約十分間くらいかゝるそうです。とくにお子さんの場合、がぼつと布団をはぐのは精神衛生上からみてもいけないようです。うつらうつらしている時間を考えて、起こす十分前くらいにホオにさわつて軽く声をかけてやれば気がつきます。気がついて布団の中でモソモソ動きはじめたら十分間、猶予を与えて起こすのが理想的です。寝足り朝の快適な空気にふれる気分は何ともいえません。

条例関係

これらのことについて、予算化されていないものは、国県の考えが決まり引受けられる段階において皆さんに相談し予算化し、めていきたい。何としても山古志はこれからけわしい道を歩かなければならない。我々為政者はそれを充分は握つた中で、出来るだけの計画をたて努力していかねばならない。

このほか、○職員の旅費に関する条例、○学校給食共同調理場設置条例、○農業共済条例の改正など七件が原案どおり可決されました。

○特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
○消防団員の定員、任免、給与及び職務条例の一部改正
議会議員や二役の報酬が四月から改正されることに伴つて、非常勤特別職、消防団員の報酬を平均七・一〇%引上げるもの

陽気がよくなつて、気がゆるむせいとか、案外かぜをひくかたが多いようです。あの寒い冬のさなかにひかなかつた丈夫なかたが、花もほころぶこのごろ、しゆるしゆる鼻をす、ついている風景をみかけます。かぜとはつきりわかたつたらすぐ手当を。ぐずぐずしていると夏まで持ち越します。持ち越したらやっかいです。風が吹いてホコリも多い季節ですから、外出から帰ったら必ずうがい忘れなさい。

人事関係

○任期満了になる固定資産評価審査委員に長島寅二郎さん(虫亀)教育委員会委員に青木健一さん(竹沢)の再選に同意がされました。

予算関係

ことし八回目の補正で、歳入歳出ともに三千五七八万円を追加し予算総額は八億四、五三六万円となりました。歳出の主なものは、海の家建築準備基金の積立四千万円のほか、除雪対策費二六〇万円に二七〇万円などで、これに要する財源は地方交付税、村債を見込んだものです。

はホルモンの分泌に変化が起こりやすく、バランスがとりにくいため、それが疲労感を増してねむい、だるいに結びつくからです。

その他

○寄付の受入れについて
山古志中学校屋体ステーション帳設置のため後援会会長より、百万円の寄付申入れがあつたもの。○その他一部事務処分の規約改正など八件は、いづれも簡易な改正でそれぞれ原案どおり可決されました。

新しい私たちの代表16人

村議会議員

村民の願いと期待を受け

投票率 97.19%



任期満了による村議会議員の選挙は、さる三月二十八日に投票が行われ、村民の願いと期待を受け新しい代表十六人が誕生しました。選挙に対する住民の関心はきわめて高く、平日にもかかわらず、投票率は高く九七・一九％という良い成績となっています。

最近のきびしい社会情勢下での議会の活動はますます重要性を加えております。

これから四年間、村政の最高の議決機関において、公平な立場で活躍されることが望まれます。

新議員の紹介

○説明
氏名(敬称略) 年齢
所属党派・得票数
住所・職業・当選回数



関 広 63才
自由民主党・144票
油夫・農業・7回



星野 仙嗣 44才
無所属・141票
二丁野・農業・2回



青木 徳司 56才
無所属・128,436票
種芋原・農業・3回



高野 哲四 46才
無所属・125,464票
桂谷・農業・3回



小川 信雄 53才
無所属・125票
小松倉・農業・3回



坂牧 正憲 39才
無所属・144,476票
種芋原・農業・2回



高野新之丞 46才
無所属・144,535票
間内平・農業・1回



小幡 勝 49才
無所属・157票
種芋原・農業・1回



酒井 省吾 49才
無所属・164票
虫 亀・農業・6回



五十嵐要吉 60才
無所属・217,183票
大久保・農業・1回



五十嵐秀夫 48才
無所属・149,816票
虫 亀・農業・2回



佐藤 武一 56才
無所属・160票
虫 亀・農業・2回



樺沢 松雄 52才
無所属・180票
種芋原・農業・2回



星野 義雄 52才
無所属・147票
下 村・農業・1回



坂牧 兼松 53才
無所属・158,523票
種芋原・農業・2回



青木 秀敏 55才
無所属・165,563票
油 夫・農業・6回

次 点・川上 秀雄 (59才) 118票
齊藤 松治 (62才) 106票

投票成績

投票者数 2,699人(男1,327人女1,372人)
うち 有効投票 2,676票
無効 23票
投票率 97.19%(男96.79%女97.58%)

当日有権者数 2,799人

議員のうちわけ

自 民 1人
無所属 15人

想い出をのこして

校舎を閉ざす

芹坪小・梶木小閉校式から



全児童が校舎にお別れを…(梶木小)

去る三月二十一日・二十三日の両日、想い出をのこして、子どもたちの教育の場、部落の文化の中心でもある二つの学校、芹坪小・梶木小の閉校式が行われました。これは、東竹沢地域住民の協力により二校の統合が計画通り進められ新校舎も完成したためです。今回が最後となった卒業式終了後、会場いっぱいにくみくみした部落民とともに児童がなつかしの校舎に最後のお別れを告げました。両校は、開校以来七十五年という長い歴史を持ち、この間、学ぶ場、教える場として、また、地域の文化も伝えてきたわけですから、この学校を卒業した生徒(児童)は、両校で一、八二名となっています。

わたしのコーナー



(7)

私が若いころ、いちばん不安を感じていたことは、冬期間に家族や親戚から病人のことでした。それが運悪く、急病人ともなればどうてい言葉に言い表わせな



三つの願い

虫亀田 中スイ

の願「を持ってみませんか。

けどお金のなかったこと。だからこんな所は、いやだなあ、といくど思ってきたことでしょう。「この三つがなんとかならないだろうか」といつもその願いが、私の頭からはなれなかったものです。

ところが今はどうでしょう。テレビに洗たく機、冷蔵庫、電話をして自家用車と都会なみの文化生活ができるようになり、背なかに

「三つの願い」を文明の神はかなえてくださった。いま五十七才の私は、毎日感謝しながら、悔のない余生を送りたい、と思っています。

ところでみなさん、これらの山古志をよりよくするために、一人一人が幸福な生活を送るために「何が必要なのか、大切なものは何だろうか」をお互によく考えて、私のような「三つ

それからは、毎日田畑で汗みず流して働けど、働登ったり、くだったり、玉の重い荷物を背負いながら、曲りくねった山道を、背なかに通わなければならなかったこと。

そして三番目には、毎日田畑で汗みず流して働けど、働



雪消しを急ごう

このままでは雪消えは5月初旬
ことしの豪雪は、雪消えが5
月初旬と推測され、融雪が遅
れて各方面に障害が出るもの
と予想されます。……急いで
雪消しをはじめま
しょう。

きびしい圃場条件、自然条件、
に対応してゆくためには未だ幾つ
かの問題点もあるので五十二年は
一般への呼びかけは差しひかえて
研究会を母体に山古志村に適応し
た機械田植のやり方を検討し推
進する考えです。

51年度の実施概要と収量

実施農家数	11戸
実施面積	3.1ヘクタール(1戸当り最高50a、最低20a)
育苗方法	小千谷市東農協に依託
田植機	知人より1時借用(2台を2日間)
供用品種	トドロキワセ
田植期間	5月18日～19日一般の手植より約10日早い
10a当り収量	11点の平均収量442K(約7俵1斗5升) 最高512K(約8俵半)最低375K(約6俵と1斗)

春の地すべりに注意!

きびしい冬から開放され、
ようやく緑の春を迎えようと
していますが、豪雪による後
遺症ともいわれる地すべりが
心配される時期でもあります。
融雪時の地すべりは発見が
遅れ従って被害もまた大き
なる恐れがあります。ふだん
からよく注意して災害を未然
に防ぐよう心がけることが大
切です。



新学期

児童・園児の
とひ出しに
気をつけま
しょう

山古志村でも 機械田植の芽生へ

長岡農業改良普及所 山古志支所



稲作の主流は手植から 機械田植に移りました

田植機が本格的に普及段階に入
ったのは昭和四十七年頃からで、
その後台数、利用面積ともに急増
し、昨年は遂に県下の水田面積の
五五・七%が機械植されました。
県下の郡市別普及率を見ると高い

機械田植に対する 村内稲作農家の意向

平場を中心に年ごとに普及して
いる機械田植について山古志村の
米作農家はどのように考えておら
れるか?……について五十俵以上
出荷予定をされている農家三十一
戸に対し、意向調査をしたところ、
農道整備、圃場の拡大、の志

機械田植研究会組織される

充分理解したうえで「よし、や
ってみよう」と意志を決められた
十一名が研究会を組織し、五十一
年の実施に向けて話し合い、対策
と研究を重ね実行された訳です。

今後の方針

昨年はまれにみる異常気象によ
る低温に遭遇し、一般手植機、機
械田植機共に痛手を受け機械植も
手放しでよるこべる程の成果を見

職場訪問 (4)

樺沢カスリ工場



樺沢三治郎

樺沢カスリ工場は昭和四十七年に建られ、当時は五人の就労でし
たが現在は二十人が就労し、そのほとんどが若妻たちです。染色は
高度な技術が要求されますが、最良の製品を目標に全員が今日も頑
張っています。

わけです。

私たちは小千谷紬の染色を
やっています。四十七年の秋、
三人で小千谷の工場へ二ヶ月
間見習いに通い、翌年春から
本格的に始めたわけですが、
これも地域の皆さんの暖かい
はげましや、ご協力があつた
からと感謝しています。当時
は五名で始めたのですが一昨
年は念願の第二工場も出来て
現在は二十名が就労していま
す。

がんばっています。

私たちがやっている染色は
原糸を染めるもので、非常に
細かいうえに根気がいるもので
技術的にも大へん難かしいもの
です。特に柄だけでなく色合が難か
しく、それだけに染色が仕上り、
反物になった完成品をみるときの
喜びはたとえようありません。
が反面、少しのミスが大きな失敗
につながるだけに気のゆるめない



二十村地名 起源考 佐野軍一

前項の続
越後の、上杉として非常に領
民に親しまれながらも、豊臣秀
吉の命によって会津百二十万石
の領主となったのである。
後の城主は、堀秀治であった。
越後四十五万石の領主として入
城したのであるが、上杉家の遺
民として一揆を起したのも秀治
の時である。慶長十二年秀治の
子、堀忠秀は春日山城は行政上
不便その理由によって、直江津
に福島城を築城して移り、幾多
の歴史を持つ春日山城はついに
廃城となったのであった。その
直江津も上杉謙信時代は府中、
または府内と呼んでいた。いづ
れにしても、天下無双の名にふ
さわしく規模も大きく、山全体
に空堀やたて堀がある。おそら
く山城としては越後第一の城で
あったろう。川中島の合戦中、
甲州に塩の不足している事を知
った謙信が、敵たる甲州武田に
送った話は大分忘れていたが、
その塩の道は頸城糸魚川から信
州松本に抜ける、旧糸魚川街道
の一部に残っている。徳川の天
下になっても頸城高田には常に
譜代の大名を配置していたもの

中起 地方

だが、強者どもの夢の跡で潑ら
つとした頸城文化に流されて、
僅に残る街道塩の道も、賑々た
る武魂も消えてまた忘れ去ら
れてしまうことであろう。

越後三山、苗場山など一列に
縦走する脊梁山脈は表日本、裏
日本などの表現の通り、中部日
本を表裏にわけ、それが国境と
もなつて要害の天険を示して今
日にかけている。従がって魚沼
の山々は関東と北陸に通ずる街
道や江戸との往還を唯一とした
三国街道の要を握っていた。